令和７年２月２０日

美深町議会議長　南　　和　博　様

産業教育常任委員会委員長　和　田　　健

所　管　事　務　調　査　報　告

本委員会は、下記の事項について閉会中に所管事務調査を行ったので、会議規則第７７条の規定により報告する。

記

調 査 日　令和７年２月１７日

調査事項　除雪体制の現状と課題について

調査内容　①　除排雪委託料の推移
②　一時雪堆積場の設置箇所
③　町保有の除排雪関係車両

調査方法　聞き取り

【調査内容の報告】

①　除排雪委託料の推移（平成２９年度～令和５年度）

除排雪委託料の内訳では、町道除排雪業務、堆積場排雪業務、町道路面凍結防止砂利散布業務（町内２３箇所）、美深川西橋除雪業務（作業距離４４ｍ）に分類され、各業務において町内の民間業者に委託している状況であり、町道の除排雪業務は直轄する機動班から民間事業所の７社で組織される美深町道除排雪協同組合に平成２９年度から業務委託している。

町道の除排雪では令和５年度までの年間委託料で、積雪量 158 ㎝を記録した令和２年度（2021 年）が１億５千１百万円となっており、直近の３年間においては、およそ１億２千２百万円から１億３千５百万円で推移している。

委託料の算定については、毎年受託業者との見積り合わせにより契約している。また、除排雪作業時の交通誘導員配置による安全管理をはじめ町道排雪作業を確実に２回以上実施するなど、豪雪地域の生活路線確保と冬場の安心・安全な住環境維持に努めている。

②　一時雪堆積場の設置箇所

令和６年度の市街地における一時雪堆積場の設置箇所においては、町有地を活用した４７箇所と私有地を地権者同意の下で利用している３９箇所の合計８６箇所が設置されている。

一時雪堆積場は、これまで私有地の地権者の協力も得て設置箇所を増やしてきている。設置箇所の選定については、堆積場排雪業務の受託業者との協議によるものであり、現状、これ以上増やす予定はない。

業務委託料の算定では、市街地を１工区、2 工区に分け、シーズン中の作業時間１００

時間を設定し受託業者は２社となっている。設置箇所により雪捨て場までの距離が違うことを考慮し、作業時間で委託料を算定している。

③　町保有の除排雪関係車両

町保有車両は総数８台で、そのうち大型特殊車両はグレーダー、ロータリー車、除雪ドーザー２台、歩道ロータリーの計５台。今後、更新が必要なものについては、美深町第６次総合計画において令和８年度に除雪トラックの更新（現・使用年数１０年１０カ月）が計画されている。

いずれも車両価格が高額なため、国の「積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法（通称雪寒法）」に基づいて、車両購入には２／３の補助を受けられるよう申請している。

《委託料の推移》　　単位：円

	町道除排雪業務			堆積場排雪業務	町道路面凍結防止砂利散布業務	美深川西橋除雪業務
	市街地	郊外	計			
平成29年度	70,740,000	53,514,000	124,254,000	8,065,440	853,200	53,568
平成30年度	64,810,800	45,360,000	110,170,800	4,528,440	864,000	61,812
令和元年度	57,079,000	44,374,000	101,453,000	3,183,125	660,000	30,605
令和２年度	82,478,000	69,311,000	151,789,000	10,034,840	792,000	52,904
令和３年度	64,335,700	58,300,000	122,635,700	3,902,773	660,000	56,097
令和４年度	74,987,000	60,500,000	135,487,000	9,131,468	748,000	71,469
令和５年度	70,840,000	62,040,000	132,880,000	3,561,260	704,000	97,354

【調査のまとめ】

日本国内では日本海側を中心に各地で災害級の大雪による被害が相次いでおり、近年ではJPCZ（日本海寒帯気団収束帯）や「線状降雪帯」などの気象変動による記録的な降雪が数年おきに発生し、北海道内では２月に入り、帯広市において一日に124cmの記録的大雪となり、車が出せない、通学路もないという状況を見ると、豪雪地域に暮らす美深町民にとっても、いつこのような災害級の大雪に見舞われるかと懸念するところである。

我が町のこれまでの除排雪の実施状況は、シーズン中の排雪作業も確実に実施するなど降雪情報を踏まえた除排雪体制が良好に組織されている。また、美深町への来訪者や転居者からも道路状況に対する評価が高く、除排雪事業のこれまで培った経験と実績の賜物と判断する。

課題としては人口減少と高齢化の進行により、町内各産業分野での人手不足に違わず、除排雪作業員でも重機オペレーター等の不足が顕在化しており、将来的に体制維持が困難となることを危惧する。今回調査においては担当課でも課題認識はあったが、作業員確保は急務と捉え、対策・支援の研究を望むものである。

我々地域住民においては、個別の改善要望はあるものの、日々、降雪状況に合わせた除雪作業に従事されている方々のおかげで、冬場の住環境と生活が守られていることに感謝の念を持ち、日常の除雪作業のルールを守り、安心・安全な町づくりに一層の理解と協力を示すことが重要である。